



医療法人社団二山会 広報誌 第81号



医療法人社団
二山会

ハートフル

Heartful 通信

理念

Heartful Hospital

心のかよった医療

基本方針

1. わたくしたちは、患者のみなさまの立場になって考えます。
2. わたくしたちは、患者のみなさまが社会復帰できるよう努力します。
3. わたくしたちは、地域に開かれ、信頼され、必要とされるあたたかい施設をめざします。



経営目標について

事務部長 本田 元昭

今年の4月、民間有識者グループの「人口戦略会議」から、2050年までに若年女性が半減し、最終的には消滅の可能性があると、全国744自治体の発表がありました。

広島県では6つの市町が公表され、また総務省の住民基本台帳人口移動報告では、広島県が「転出超過数」で都道府県別で2年連続全国ワースト1位となっています。国全体、広島県においても少子化、人口減のトレンドは止まらないでしょうし、今後ますます地域間や企業間での人の取り合いが熾烈化していくことになるかもしれません。労働人口減少のなかでいかに職員を確保していくかが、業種を問わず全ての事業体でのこれからの大きな課題となると思います。

今年度の経営目標の一つとして、「雰囲気良く、活気と魅力がある働き甲斐の感じられる職場をつくり、人材の確保と育成・活用に努める」を掲げています。

今春から、従来の介護職員への処遇改善手当に加え、病院の看護職員等への待遇改善手当の支給が始まりました。職場を選ぶ条件として、生活設計のための賃金は当然でしょうが、仕事でのやりがい、自己成長が図られる、職場の人間関係、仕事と家庭・個人生活とのバランス等、賃金以外の要件も重要だと思います。そういう『お金で買えない価値』『見えない価値の再評価』がより大切になってくるのではと思っています。

当院では、今年はそういう面をより充実させて、地域からそして職員からも選ばれる職場づくりをめざし、取り組んでまいります。職員が自分の家族を入院させたい病院、職員が自分の家族に働いて欲しい、家族と一緒に働きたい病院、そのような病院になりたいと願っています。

今、当院にはありがたいことに、職員同士の紹介により、夫婦、親子、姉妹、甥、姪の関係の職員がかなり在籍しています。今後ともこのような職員をどんどん迎えて、これからの労働人口不足の課題解決の一助になるよう取り組んでまいります。

このような取り組みを通じて、「地域になくてはならない、そして最も頼りにされる精神科病院」の実現をめざしてまいりますので、今後共よろしく願いいたします。

認知症カフェ



当法人では、東広島市からの委託事業として毎月1回、認知症カフェを開催しております。認知症当事者の方や認知症の方を介護されている家族、医療福祉関係者、地域住民の方など、どなたでも参加していただけるカフェです。講師による認知症に関する話を聞いたり、笑いヨガで体も気持ちもリラックスしたり、楽器の演奏会を楽しんでいただいたり、様々な企画も行っております。また、当カフェの1番の目的は「介護者同士の交流や気持ちの共有、情報交換などを行っていただくこと」です。「ショートステイを使ったらいいよ」「こういう風に対応したら、よかったよ」など、介護している方同士で交流を深めていただいています。カフェに参加したことで、認知症疾患センターの受診につながったり、介護保険の申請をして、サービス利用につながった方もおられます。興味のある方はどうぞご参加ください！



開催日時：毎月第2土曜日 午後1時30分から午後3時

開催場所：宗近病院 サロンデュあおぞら(池側の建物)

※車は病院駐車場をご利用ください

参加費：無料(お茶やお菓子を準備しています)

申し込み：認知症疾患医療センター TEL:082(493)8651

※当日参加も可能ですが、できれば事前に申し込みをして下さい

※今後の予定や詳しい内容については、宗近病院ホームページをご覧ください



家族教室を開催しました！

令和6年6月22日(土)に、当院の精神保健福祉士 北野 早紀 が講師となり、当院へ入院されている方のご家族を対象に「社会資源について」をテーマとして、障害福祉サービスや介護保険サービス、その他の制度について事例も交えて講義を行いました。社会資源とは、サービスや制度に加えて、ご本人にとってはご家族や友人、近所の方も社会資源の一人と考えられます。講義では、社会資源を利用することで、ご本人やご家族がイメージする生活に近づけられる可能性が増えたり、ご家族の生活(仕事やプライベート)を守ることにもつながること等をお伝えさせていただきました。また、東広島市が発行している「介護保険の手引き」や「認知症ケアパス」等の情報提供も行い、自由にお持ち帰りいただきました。講義後は、質問や感想等を参加者の皆様と話す場を設け、終始和やかな雰囲気、ご家族同士での交流の場にもなったのではないかと思います！



ご参加いただいたご家族からは、「サービスの種類が分かり、今後役に立てることができると思う。」「事例を挙げて説明してもらえたので分かりやすかった。」「少人数だったので、色々意見がきけて勉強になった。」等の声をいただきました😊

今後も、皆様にとって有意義な時間となるよう企画していきますので、お気軽にご参加ください！

グラウンドゴルフ大会

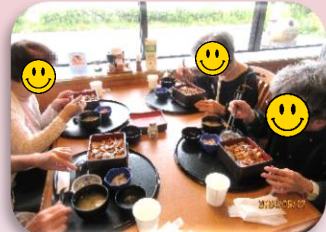
5月8日に『グラウンドゴルフ大会』を行いました。本来であれば、当院グラウンドにてストロークプレーとニアピンゲームを行う予定でしたが、当日は生憎の雨のため、室内にてホールインワン大会を開催しました。グラウンドとは違い、ボールを打つ力加減が難しく、苦戦された方も多数おられました。ホールインワンをされた方が職員を含めなんと3名も！大変盛り上がりました！



春のバス旅行



5月27日（月）に、廿日市市にある『やまだ屋おおのファクトリー』へ行きました。映像でやまだ屋の歴史や商品の説明を受け、もみじ饅頭の工場見学へ。広島県民に馴染み深い『もみじ饅頭』ですが、「作っているところは初めて見る。」と患者様は興味津々！普段、食べる機会のない珍しい味も知ることができ、お土産に買って帰る方もいらっしゃいました。昼食には穴子重や穴子の天ぷらを食べたり、帰り道には宮島の鳥居も見ることができ、広島らしさ満載のバス旅行となりました！



軽スポーツ大会



6月に精神科の軽スポーツ大会で『ボッチャ』を実施しました。ボッチャはパラリンピックで行われている競技です。どの部署の患者様も大会に向けて一生懸命練習しており、当日は的玉を狙い、一球一球真剣に投げておられました。接戦の試合も多く、選手への声援にも力が入り、とても盛り上がりました！2024年の軽スポーツ大会の優勝はデイケアほのぼの、準優勝は2病棟という結果になり、おしくも入賞を逃した病棟からは「来年は頑張ろう！」「来年に向けて、また練習しよう！」という声が聞かれました。



栄養管理室便り～豪華弁当～

6月19日に豪華弁当を作りました。以前は、6月と12月にバイキング形式の食事を提供していましたが、コロナの影響でバイキング形式での食事の提供が難しくなったため、豪華弁当を提供しています。

リクエスト給食で人気のある料理を
バランス良く組み合わせました！

今回のメニューはこちら！

- ・ちらし寿司
- ・ヒレカツ
- ・ブロッコリー、トマト、キャベツの辛子和え
- ・ケーキ
- ・フルーツ（キウイ）



今回は、暑くなるこれからにぴったりの食品を紹介します。

ちらし寿司に使用した『酢』です。酢は夏バテ対策に良いと言われてしています。

その理由は、第一に**食欲促進**です。すっぱいものを摂取する事によって分泌される唾液と胃液が食欲を促し、さらに消化吸収を助け、胃腸を整えてくれます。第二の理由は酢に含まれる**クエン酸**の力です。酢の主成分である酢酸は、体内でクエン酸になります。ご飯や麺類などに含まれる炭水化物をエネルギーにする際にビタミンB類やクエン酸が必要になります。また、疲れの元となる乳酸を取り除く効果や、新陳代謝を促す効果も期待できます。普段の食事に酢を取り入れてみてはいかがでしょうか😊

【外来診療案内】

診療時間 8:45～12:00 13:00～16:00 日・祝休診

初診受付 8:30～11:00 12:45～14:30

再診受付 8:45～11:30 12:45～15:30

※初めての診察をご希望の方は、まずはご相談ください。木曜日は再診のみです。

お問合せは、お気軽に 宗近病院代表電話（082）423-2726 まで！

広島中央認知症疾患医療センター 月・火・水・金・土 午前 **予約制**

直通電話（082）493-8651 にて、予約を承ります。

広報誌に掲載の写真は全てご本人の了承を得ております。

＜発行者＞医療法人社団 二山会

＜編集＞広報委員会

〒739-0024 東広島市西条町御菌宇 703

Tel:(082)423-2726 Fax:(082)424-2999

＜Eメール＞ youyou@youyou.or.jp

＜ホームページ＞ <http://www.youyou.or.jp>

＜発行日＞ 2024年7月



当法人のホームページはこちらの二次元コードからご覧いただけます。

編集後記

今年はおリンピック・パラリンピックイヤーであり、2024年7月26日から第33回オリンピック競技大会がフランスのパリを中心に開催されます。ミーハーの私にとって、オリパラ期間はとてむくわくする時間であり、寝不足になりながら日本選手の活躍を見たいと思っています。この度、広報誌の行事報告でもありました「ボッチャ」ですが、ボッチャは、ヨーロッパで生まれたスポーツで1988年のソウル大会からパラリンピックの正式種目となりました。ジャックボール（目標玉）を投げた後、対戦する両者がそれぞれの自球をよりジャックボールに近づけたチームや個人が勝者となります。手で投げることの難しい選手は足でボールを蹴ったり、介助者とともにランプと呼ばれる滑り台のような投球補助具を使うことができます。前回の東京パラリンピックでは、日本のチームが銅メダルを獲得しています。今回も頑張れ日本！！